磐城毎日

社長　大和田與兵衛
發行所　福島縣平市南町
株式會社　磐城毎日新聞社
編集兼印刷人　遠藤孝倫
發行人
電話（平）一二一〇番

九ポ、八ポの鑄造が終りました
寫眞版は三時間で製調します
切に御注文下さい
平市仲町（電話七二九番）
株式會社　大和田印刷所

平保健所敷地内定

橋部長見分、豫定地は堂根町

廿五日午前十一時縣橋衛生部同後藤醫務課長は來市、縣案の平保險所新築豫定地敷地の見分後市役所で小憩後內郷町町村共立病院施設の狀況を視察の上平醫師會創立總會にのぞみ、更に豐間療養所國立病院に向つた

兩課長の實地視察の上保險所豫定地は現平市役所南側隣接地四百坪をあてるべく內定を見た

第二中學校敷地問題

小名濱町第二中學校建設問題は二十五年度に於て豫算化し、建設する事となつたが、其の敷地は故小野晋平町長時代に共同墓地として整理したる一万坪を利用する事となつたので其の敷地をして二十四日午後二時より水野町長、吏員、町議の回夏季大會講座を開校する一行が視察し校舍七百坪を講師は次の通り

一日　純潔教育、評論家村岡花子

二日　こゝろの健康、日本女子大教授氏家壽子

三日　戀愛と結婚、評論家阿部靜江

四日　恐慌下の日本の動き東大助教授大內力

五日　日本經濟の現在と將來、ダイヤモンド社長加藤一

六日　國際狀勢について、外務省審議室委員萩原徹

社會黨の常磐擴大委員會

日本社會黨常磐地方協議會では二十九日午前十時から平市大工町勞働會館で同擴大委員會を開催、今後のうん動方針、平和うん動の展開、財政確立など六項目にわたつて協議する

千坪を充てるもので、平家か二階かの案に對し平家二棟建設と決定、地均し建築と着工するの段取りとなり同時散解した

未亡人會生る

小名浜に

小名濱未亡人會は二十五日午前九時から小名濱第一小學校で結成式を擧げた、早くから結成の準備をすゝめてゐたが、種々の都合で今日迄延々して居たもので會員二百名、會長は前小名濱幼稚園長鈴木いせ(五〇)さんこれで石城郡內で未亡人會を設置された町村は平、內郷、泉、小名濱の四町村に

庶民住宅きまる

市並に小名濱

小名濱町では庶民住宅公庫もなるのに第一号だけしか出ないのもあり半年以上も經つて漸く第三か四号位の坪建十戸の割當通知に接したので二十四日午前九時よりものもあるらしい、併し新聞記者と自稱してゐる一部の「ゼニトルマン」は發行号數と反比例して相當多數おいでの樣で、昔からの喰い場である料飲店は元より、商店街やその他肩書のあるお偉い方々も金詰りの現在これら連中の旺盛なる活動力には相當惱まされてゐる模樣である新聞の使命と眞價は紙面の大小によつてその價値が極まるものではなく、新聞の要ていは嚴正、公平にして勇敢なる記者諸君の人格的責任ある報導でなければならないと私は信じてゐる

書く文才と能力のない、又は公平なる批判りよくのない記者が「新聞と云う社會公器をバックとして、然かも月刊か年刊の一、二頁に過ぎない不見識なる新聞を云ふ事を「落ちる」と云ふのは方言とは云え聞く人が聞いたなら吃驚してしまうそれからエとイの發音の間違なども時に誤解し易いものである、八百屋のショーカードに麗々しくインド豆（エンドウ豆）と書かれていたりするのはむしろ御愛嬌で、入園と入院井戸と江戸宴會と委員會等エとイの發音混同の爲どちらか意味の取りようのないものになつてしまう

此の頃の學校の先生方は新教育法以來そんな事は絶体に無いが、私共の小學校の時分は先生自身エとイの混合した方言でまくし立てるので、こちらもつい氣附かずに卒業してしまい、上京してからエとイの發音を矯正するのに非常に骨を折つた事がある

郷土文化保存の爲にべ言葉は尊重して一向差つかえないが、エとイの發音は正しくした方が旅行者にも迷惑をかけず我々自身も亦すつきりした發音で話せるのではないか、矯正にさして骨の折れない若い學生諸君のうちからこう云つた点に留意されたならば次の代の石城言葉からエとイの間違いを追放出來ると思う(K)

稻荷丸遭難から

海上保安署に又非難

小名濱町には二十三年以來する處置も取つて呉れる處港灣關係から海運局小名濱支局が生れ、更に續いて小名濱海上保安署が生れた、そして海上治安に當つて居るが、現署長の遠山氏は其の出生地が東京都で全くの江戸ッ兒たる点が海上治安には打つてつけの人柄であるだけに任務執行には何時も特徴を現して居る、救難作業に就ては遺憾ながら其の短所を露呈して居るとのうわさが高い、過般江名町に起つた遭難船に對する非難の未だおさまらざる中に又廿二日小名濱御代亀太郎所有船第五稻荷丸が請戸濱近海に於て坐しようの急報に接し其の救助方を求めたのに其の機能を發揮し得ないと云ふ批難がわいて來た御代氏の談に依ると海上保安署は海賊防犯の任務がそれではなるまい、遭難に關

夏季大學講座

磐女校講堂に

一日より六日間磐女校講堂において縣教育會主催第五

小名濱特信

日刊紙磐城毎日の小名濱支局が開設された事は實に嬉しい、茲二年來小名濱には種々雜多な新聞？の發刊ぶりは週刊紙だか月刊紙だか或は年刊紙だか殆んと判別のつかない乱行ぶりであるそしてその何れもが休刊したのか廢刊したのか半年に

驛前で遊説

福島縣高校辯論部では

二十六日午後三時より平驛交番前で遊説を行ふ

既報＝平市田町税務署跡の映畫館設立問題は土地問題の解決とゝもに資本金三百五十万円で登記も濟み來月から日活專門技師設計による二百五坪の鐵筋コンクリート、收容人員六百名の近代的モダン映畫館の建築に取りかゝる事となり、重役の陣容は社長堀江正敏氏、取締役吉田巳之吉、眞根井

映画館近く出現

嘉門、庭山丑松、齋藤二郎阿部康雄、監査役弼塚覺、森川忠吉氏、尙館內の設備は一般より希望を聽取し映畫館名は募集で決定する

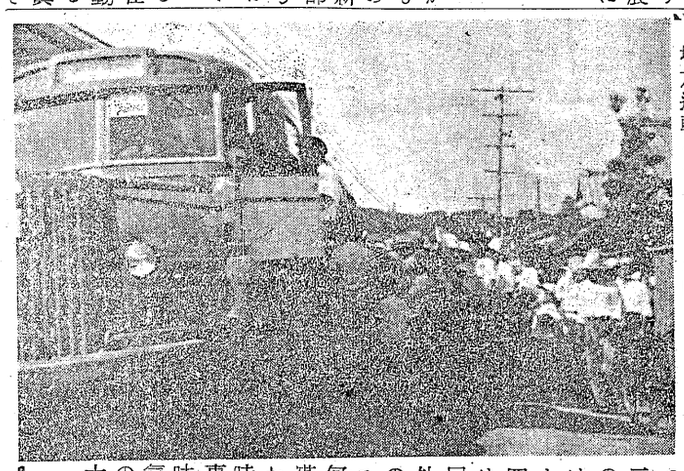
縣議團來市

各地視察終つて

縣會林務委員植田万次郎氏ら一行十名は白河奥地鎌戻山甲子山地帶の豊富な山林資源の開發に要する諸費用の國庫補助申請について林野廳、農林省等關係當局に二十四日茨城縣林松の百五十町歩に亘る砂防林を見學二十五日來平、內郷組合病院其の他の視察を行つた

超滿員のバス

獨占、不景氣しらず



常磐交通の平—四ッ倉線は連日海水浴客で滿員すなりの狀態で、一日十六本の運轉では運び切れないほどの旅客に二十四日から當分の間二十本に增加運轉をするなほ土曜日は二十四本運轉となつてゐる

二十三日の日曜にはトレラーの大型四回を含め二十六回、運轉外に數台の貸切バスが出て何れも超滿員、超かき入れ時と獨占事業の甘味に不景氣知らずの收益で大滿悅

議談方言

方言は古い歴史と環境から生れ出たものであつて啄木の「故郷のなまりなつかし、停車場の人混の中にそを聞きに行く」とあるように故郷を遠く離れた者にとつてはむしろ懐しく悲しく又嬉しいものである、然し方言のうちでもイとエの如く發音の混同せるもの等は時に旅行者を苦笑させ困惑させる事がある

人物ニュース

△石城地方事務所農地課鈴木吉人主事は二十七日縣廳へ農地關係事務協議會に出席二十九日歸平する

△橋縣衛生部長來市、午後七時四倉に向ふ

△後藤醫務課長右同

△植田萬次郎縣議他林政委員一行は廿五日來平、町村組合病院を視察した

市民録

婚姻

二十四日平市大字上平窪根本喜一(二四)夏井村大字西小川草野いね子(二三)さん△二十日宮城縣刈田郡宮村佐藤正雄(二三)氏平市大字下平窪字曲田會川まり子(二〇)さん△十九日平市正月町黑崎一男(二五)氏と內郷町御厩阿部つよ(二〇)さん

出生

二十二日平市白銀町石島公德氏長男博さん△十九日平市大館黑澤庄治氏長女伸子さん△十四日平市正月町黑崎一男氏長男訓明さん△四日平市大字平窪小室廣一氏二女千惠子さん△十八日平市田町渡邊武雄氏長男政紀さん△十四日平市十五丁目廣瀨五郎氏長男幸男さん

望

去る二十二日平市が地方税の徴收對策として開催した舊平窪、飯野、神谷三農業地區の事務囑託員會議の席上舊飯野、神谷は合併前石城郡內でお互に一、二を競つた納税優良村だつただけに兩地區の囑託員からは建設的の意見が活發に述べられた兄貴株の舊平窪側は一向に氣勢が揚らずむしろ「コリア大變な事になつた」と云ふ空氣がみなぎつていたその理由は舊平窪地區は終戰後納税組合の組織が相當に崩れているので再編成して出直さねばならぬから舊飯野、神谷側を太刀打ちするのは容易な業ではないと云つて弟株の兩地區に負けたとあつては兄貴分のコケンに關する重大問題であり、ジレンマに陥つた形だが、親分株の本家本元の商工地區はどんな手で來るか、これも見ものであり、この勝負は今の處「殘つた、殘つた」と云ふ處で或る意味で今流行の競輪以上の興味であらう

◇四ッ倉脫衣場開店◇
百名樣收容出來ます○○○○○
四ッ倉町鈴木屋前停留場下車
ひやうたん
平村木町

産科婦人科
齋藤醫院
平市南町
電話九二番

社員募集
一、營業部員（舊中卒）若干名
一、放送員見習（高女卒）若干名
履歴書持參午前中御來社下さい。
委細は面談の上決定
平市三丁目芹澤材木店二階
東北街頭宣傳株式會社
平出張所

産科婦人科
入院隨時
五十嵐醫院
五十嵐雄二
平市新川町
電話三六九番

大衆食堂
さかえ
平驛前東角
開店披露の爲！
大奉仕！

大蒲燒
土用うなぎ
丑の日賣出し
うなぎ
魚榮
平市田町
電話一一一六番
多少に拘らず出前迅速

水上競技大會決る

若人五百健保プールで

縣体育連盟縣、教育委員會に努めて居る、開催日は來事務局主催の第三回綜合体る二十九、三十の兩日で常育大會夏季水上競技大會が磐炭鑛健保プールは五十米今回郡下内郷町常磐炭鑛健長水路をあてるもので縣下保プールで開催することに各選手は別項の通り男女學決定された、本競技會開催生、一般選手を併せて五百に當り地元平市、内郷町名の水の若人がシブキを立は体育奬勵のため最大の後てゝ躍動する水泳大會こそ援をするべく、設備の諸般盛會を豫想されてゐる

はたして征覇か

訓練出來た磐城選手

参加者は男子高校二百十五名、一般男子(實業團を含む)四十九名、一般女子十六名、現在の所一般男子に福島勢が、一般女子に白河勢が参加してないが、今後申し込みがあるのではないかと關係者は見てゐる

一般男子(實業團)では常磐チームが他を抜き白河チームが續いてゐる、一般女子では現在の所四ツ倉から十六名の申し込みで白河から参加しても石城勢には敵はないだらう、男子高校では昨年度よりグンとレベルが向上してゐるし新人の進出があるので豫想する事はむづかしい、昨年の優勝白高河高、磐高、喜多高、福島商業、會津高などの接戰を思はせてゐる、また相高から十名福高から十五名の申し込みがあるので相當混戰するのではあるまいか

郡工 0 0 3 0 2 0
　　 0 0 0 0 0 0
磐高 1 0 3 0 0 0
　　 0 0 0 0 0 1 / 4
バッテリー藤本—松本(郡)
松本—國井(磐)

〃〃〃〃〃 認定講習協議會 〃〃〃〃〃

教組石城支部委員會は二十六日午前九時より平第二小において認定講習會について報告と協議がある

急行車に手入れ

主無し米四俵

東京、阪神方面のヤミ米の値上りから最近の常磐線の急行準急を利用して仙台、岩沼方面からヤミ米を搬出するものが激増してきたが三重縣からさる六月中旬ころ行商を續けてきたもので氣持が小さく結婚約束をした同町特殊きつ茶店某女に平鐵道公安室では廿二日に引續き廿五日に平着午前一時二十分上り準急二二列車の食管法違反の一齊取締りを行い置去無主物米四十三個約四俵を押收した

水泳中急死

勿來町關間建具商赤津進二男孝二(10)は二十四日午後四時半ころ同字附近地内貯水地で友達三人と遊泳中心臓まひを起し死亡した

猫いらず呑む

河沼郡堂島村郡山字近道小間物行商伊藤榮喜(三九)は二十四日午後二時ころ内郷町沼木賃宿双葉屋で猫いらずをのみ自殺をはかつたが同宿の友人二人が直ちに同人の口から猫いらずをつかみ出したため未遂に終つた三重縣からさる六月中旬ころ行商を續けてきたもので氣持が小さく結婚約束をした同町特殊きつ茶店某女にぶり(同)二五〇—二三〇円あわび(同)　五五〇—五〇〇円市況下落ち

磐高女生70名進出

受入れた職場で人氣よし

四十日の夏季休かを無駄には過したくない、學費の一助に好きな書籍の購入に或は一家の生活補助へと思ひ思ひの目的に向つて短期間ではあるが、實社會へ飛込む生徒の希望に應え磐城高等女學校では職業指導係の鈴木教官をして各職場に働きかけた結果、六十七名が就職されたし、他に自りよくで相當職に付てゐるものがあると云はれ、學校當局は成功を喜んでゐる

暑さ知らず

キャンデー屋

市内二丁目緑キャンデー屋に須川ヨシ子さん他三名がセッセと働いてゐる、朝の七時から晩の六時までが勤務時間輕勞働と云ふところ暑さは感じませんが立ち通しなのが少しつらいとの事

役所の忙しさ知る

税務署勤務

平税務署の直税課では磐女三年生田口さん他十四名が熱心に大きな机に山積の書類を一つ一つ整理してゐるが、仲々にわか仕込みの事務員とは思いないほど、最初は何となく恐ろしい様な氣持でペンが思う様に運べなかつたが今ではなれて休み時間もわすれる程樂しくやつてゐる、署員の人達も親切なので良い勉強になります、税務署の忙しいのが始めてわかりましたと仲々の精勤振り

新星製薬

手先鮮か女工振り

大町の新星製薬では磐女三年生櫛田さん他二十九名が真振りを見せてゐると思い藥品の包装や容器の洗滌には銀座街の藤越百貨店にも勵んでゐる、手先の器用なことアルバイトとは見られないほど、工場長も皆んな良い娘達ですとほめてゐる手先の仕事なので初めての娘さん達にとつては大分こたいるらしく誰もが神經消ます、でも働かないよりは良いわねともらしてゐる

學生マネキン

百貨店にも

二丁目カミヤ洋品店には今野さん他一名が可愛いゝ店

磐高晴れて

東北大會出場へ

全國高校野球縣予選大會で郡代表磐高は福商を破り決勝戰へ進んだが五對四のスコアで郡工に破れたが然し準決勝に輝き、晴れの東北大會出場校とけつ定したスコアは次の通り

〃〃〃〃〃 平第一小學校緑陰子供會 〃〃〃〃〃

緑陰子供會夏休み中のプランは次の通り

△一、二日　午前六時同校集合(早起會)小學藝會、紙芝居△十三、四日仝早起き會、職員の童話、内郷一中花澤教官の童話△十九日午前八時より仝校で町内少年クラブの研究發表コンクール

石城醫師會總會

脱退派議場をけつて退場

紛爭から幹部總辭職

紛糾を豫想してゐた石城醫會と同時に殘留組より脱退師會臨時總會は二十六日午者が出席してゐることは議後一時半より平市公會堂に事進行上違反行爲であると開催、碧頭石城醫師會改組の件につき協議した、この遂に休憩を止むなきに至つ總會には分離して新たに平た、午後三時二十分平醫師醫師會を組織した二十余名會側二十余名は憤然會場を の出席してゐることから開退出した、後ち再會、殘留組で

一、分離派(平醫師會)を包括する連合會か

一、純然たる殘留派のみの連合會再組織か

について活潑な討議の結果殘留派のみの現狀維持を絶對多數で決定するや内木會長は今まで醫師會の紛爭を釀した責を負い辞職すると幹部十名が辞意を表明した(午後三時三十分現在)

商狀經濟欄

【鮮魚】

廿五日現在
卸値
(單位貫)

かつを(四倉)　一二五〇—一三〇円
すずき(同)　五五〇—四五〇圓
あじ(小名濱)二五〇円
ぶり(同)二五〇—二三〇円
あわび(同)　五五〇—五〇〇円
市況下落ち

【青果市況】㋝市場

きやべつ(地物)　三〇—二三円
きうり(同)　五五—三五円
なたまめ(同)八〇—三〇円
丸なす(同)一〇〇—八〇円
長なす(同)　六〇—四五円
南瓜(同)　五五—三五円
らつきやう(同)　九〇円
トマト(同)一二〇—八〇円
西瓜　五五—五〇円
まくわうり(小名濱)
八〇—六〇円
三〇〇—一〇〇円
桃　瑞境期に入つた二、三種を除いては値上りなく、全体的に保合市況は依然活潑

【株式市況】

磐城證券三日現在

昨日に代り今日は紡績株が強調で船株は利喰に一服商情となつたが確りしている

出來高概算四百萬株

鋼管　六五
東洋紡　三〇三
鐘紡　一六〇
日清紡　二七
呉羽紡　—
日東紡　八五
片倉　五九
帝人　一三三
東洋レ　一三九
新光レ　一九七
山バル　一三五
東海上　四九七
新郵船　一八三
三井船　一六八
日發　三六
三井山　四一
呉羽化　五三
苫小牧　一四四
十條紙　一三三
本州紙　一五六
日セメ　八三
磐城セ　一八〇
小野田　一四〇
不動新　三八
陽和不　一六三
開東不　一七五
三越　三九〇
日麥酒　四一〇
朝麥酒　四一〇
キリン　四九五
寶酒造　一三六
野田醤　三三〇

文藝欄

拾い読み

キャンデー屋の賣子、平市内に四十軒のキャンデー製造元がある、その賣子が昨今大えに増いて千百三人とは驚くほどで、まづ是等の賣子は自轉車での活動は里程にして平均一日十五里位を廻り歩くと云ふ寸法、それで賣上げが二百本に達すれば上々の成績、大たいの處百本位とのこと、これで一本から一かい五十錢の利益、自轉車を借りるとその損料が七八十圓場合によつては夜の八九時頃まで稼ぐことは通例何の商賣でも樂なことはない

日石　九　豊年油　一三〇
三井造　一六五　高壓　四九五
日立　三六　日産化　五九
東北バ　一日活　一三九

第三回平工高教諭俳句作品＝渡邊何鳴氏選＝

〃せみ

入選　林道に送りむかへやせみしぐれ　柴田
ビケ帽をかすめてせみの逃れけり　金子
せみに明けせみにくるる山家かな　大河原
立寄ればせみ鳴き去りぬ木下かげ　松本

〃浴衣

入選　湯上りに糊のついた浴衣かな　加治
〃夕やみに浮きくる野路の白浴衣　柴田
〃、輪になりて揃浴衣の法　富田

〃養會

浴衣着て花生ける娘のつゝましく　神谷
〃金魚

入選　水換えし鉢の金魚に力あり　平尾
〃病める日は鉢の金魚に心より　無名士
寂として金魚屋の聲細り行く　大河原
〃噴水のしぶきに踊る金魚かな　馬場
枕邊の金魚動かす晝下る　松本

〃難詠

入選　うみ沿いの道や日傘の見えかくれ　小野
片虹のかゝる岬の逍遙に　小野

醤油、味噌、アミノサン
製造業
磐城醤油株式會社
社長　會川延太郎
平市久保町三八
電話八一七番

社員募集
一、年齢二十五才以上三十才以下の男子
一、外交專門で商店生活者の子弟に限る
一、無經驗者も可
一、固定給とする、市内居住者
一、採用面接は午前九時迄とする
平市仲町　株式會社　大和田印刷所

氷　氷　氷
平市五丁目21　電634
平製氷株式會社

二版華豪加參總店料品衣名有内市
7月25日—30日
6日間
平の夏祭まつり
し出賣大引福る當が等ス ンタ帯丸袴戸江は又具夜て圓百げ上買御

才槌小路　イワキヤ洋服店
〃　松屋吳服店
〃　渡邊吳服店
鍛冶町　エビスヤ
一丁目　仙臺屋吳服店
二丁目　吉田屋吳服店
〃　ヤマカ
〃　中野洋品店
三丁目　なかや
〃　大黒屋
〃　やまと
〃　三井吳服部
四丁目　ツルヤ
〃　山吉吳服店
〃　ウロコヤ
〃　小野榮吳服店
白銀町　川又
田町　壽百貨店吳服部
〃　マサゴヤ
〃　ハシモトヤ糸店
南町　齋藤吳服店
新川町　谷屋吳服店
〃　諸橋吳服店